

「千代田区地球温暖化対策地域推進計画2021」 の進捗状況

- ・各種イベントの実施報告
- ・助成事業等実績報告
- ・地方連携による再生可能エネルギーの供給実績報告
- ・千代田区温暖化配慮行動計画書制度
- ・中小企業向けセミナー／スクールの開催報告

ちよだ環境フェアの実施報告

地球温暖化やヒートアイランド対策、ごみの減量など環境の大切さをより多くの方に知っていただき、地球にやさしい生活を送るきっかけづくりのため、参加体験型イベント「ちよだ環境フェア」を（一社）千代田エコシステム推進協議会と共催で開催した。

【日 時】 令和7年11月8日（土）10時～16時

【場 所】 区役所1階、4階会議室

【来場者】 400名程度

【内 容】

●講演会

- ・FC東京 コミュニティジェネレーター石川 直宏さん
- ・科学実験パフォーマーのエディーさん
- ・NHKエンタープライズ
エグゼクティブ・プロデューサー堅達 京子さん

●ちよエコヒーロー宣言マンガ表彰式

●環境ワークショップ

- ・LEDランタン作り
- ・アロマスプレーづくり

●再生家具無料抽選会

●出展ブース

- ・飛騨高山・ちよだの森 丸太切り体験
- ・メタネーション体験ゲームアクティビティ
- ・ハーブを使った石鹸づくり
- ・ちよエコヒーロー宣言登録ブース

ほか



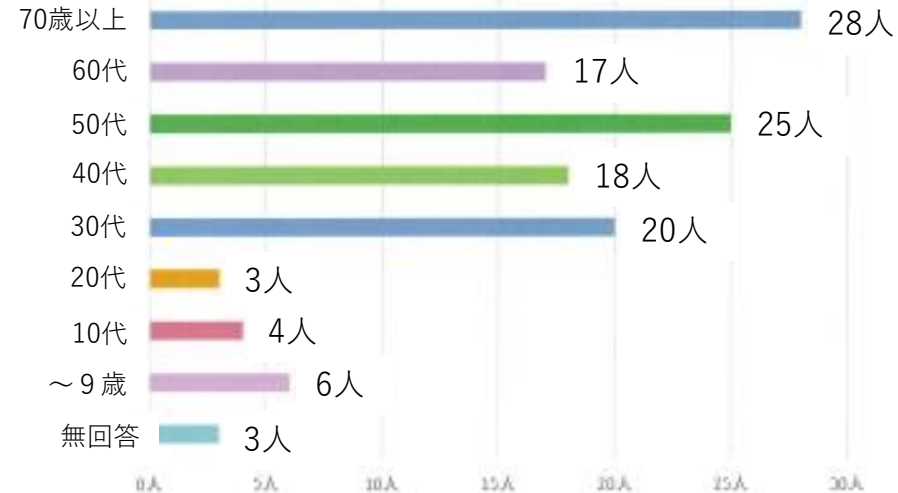
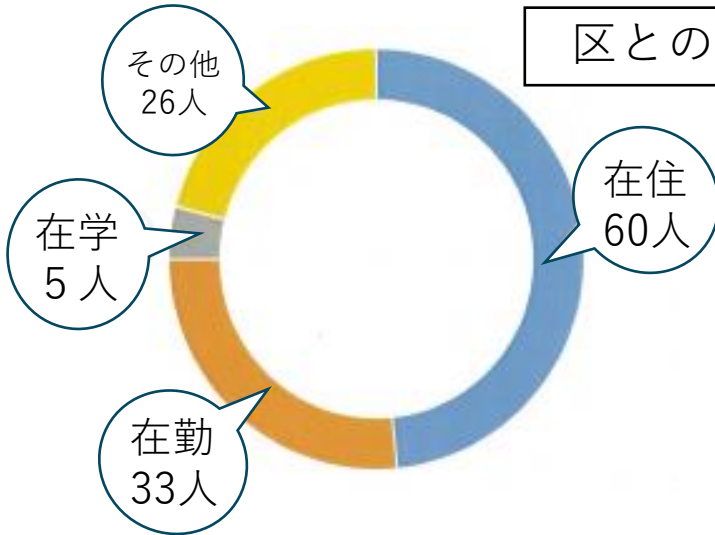
ちよだ環境フェア 来場者アンケート集計結果

(回答数 124名)

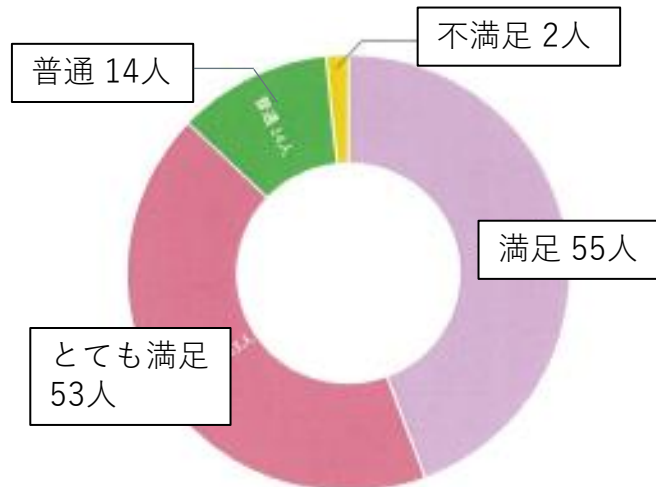
◆来場者の属性

年齢層

区との関係



◆イベントの評価



来場者からのご意見など

- ・初めての企画参加させて頂きました。楽しくて時間を忘れる事が出来ました。
- ・コンパクトだが、内容も面白く、すごく良かった。
- ・スタンプラリーなど、子供も楽しめるイベントがあって良かった。
- ・サイエンスショーが面白そうだったので遊びにきました。空気砲や風船を使った実験が見て分かりやすく良かったです。また見てみたいです！

グリーンストック作戦(既存建物の省エネ化)

制度概要

既築建築物(ストック)の省エネルギー(グリーン)化を推進するための事業

省エネルギー診断の受診
(周知やPRを実施)



設備改修・運用改善による
省エネ対策の提案



設備改修による省エネ対策の実施 → 区の助成制度の活用
運用改善による省エネ対策の実施



既存建築物の省エネ化を実現



千代田区内の脱炭素化



グリーンストック作戦(既存建物の省エネ化)

省エネルギー改修等助成制度

◆対象

事業所、住宅、マンション共用部

※原則、事業所は省エネ診断の受診が必要

◆助成内容

・LED照明 対象経費の**50%**

・上記以外(※) 対象経費の**20%**

(※)空調、窓断熱対策、太陽光発電システム、蓄電システムなど

実績

R7予算額:**146,700,000円**(執行率:**104.8%**) ※令和7年12月末現在

※加えて、13,000,000円を低炭素建築物助成から流用(流用後執行率:96.3%)

◆千代田区省エネルギー改修等助成制度(令和7年度)

助成件数 **206件** 助成額 **153,747,000円**

CO₂削減量 **948.67t**

◆省エネルギー診断(令和7年度)

診断件数 **127件**



ヒートアイランド対策

ヒートアイランド対策計画

◆実施期間

令和6年4月1日から令和13年3月31日まで

◆対策内容

・緩和策と適応策を考えた施策

- ①被覆 遮熱性舗装、保水・透水性舗装、外壁材(窓等)の断熱
- ②緑化 建物、公園、道路
- ③水面の保全 水質浄化、水辺空間の活用
- ④その他 ドライ型ミスト、日よけ、打ち水、熱中症対策、人工排熱対策、情報発信、マネジメント

R7年度実施

- ・ドライ型ミスト設置 6公園+1緑道に7～9月に設置 効果測定実施
- ・日よけ設置 御茶ノ水駅御茶ノ水橋口前歩道部分に、令和8年2月設置予定（実証実験として安全性と効果測定を行う）

R8年度実施予定

- ・ドライ型ミスト設置 予算が付かず実施休止。設備の常設化に向けて検討を行う。
- ・日よけ設置 R7年度から引き続き実証実験を行う

ヒートアイランド対策

ヒートアイランド対策助成制度

◆対象

事業所ビル・マンション・住宅等の所有者など

◆助成内容

- ・緑化(屋上、壁面、敷地内、菜園)
- ・日射調整フィルム、窓用コーティング材
- ・ドライ型ミスト発生装置(固定、レンタル)
- ・高反射率塗料、熱交換塗料 (屋上、壁面)
- ・遮熱性塗料、熱交換塗料(舗装面)
- ・レインガーデン

◆助成金額

- ・対象経費の**50%**
(一部、対象経費の**50%**又は㎡単価から算出した金額のいずれか低い額)
- ・上限額 10万円から200万円

実績

R7予算額: **4,328,000円**(執行率: **87.7%**)

※令和7年12月末現在

助成件数 **12件** 助成額 **3,799,000円**

内訳	緑化・レインガーデン・菜園	4件
	高反射率塗料	3件
	日射調整フィルム	5件



建築物環境計画書制度・低炭素建築物助成

制度概要

◆建築物環境計画書制度

床面積の合計300㎡以上の建築物の新築及び増改築に際し、計画の初期段階から事前協議を行うことで、事業者が建築物のCO₂排出量削減に積極的に取り組み、環境に配慮した建築物の計画を推進している。

＜目標値＞ 非住宅：省エネ基準より **35%削減**
住宅：省エネ基準より **20%削減**



◆低炭素建築物助成

建築物環境計画書及びBELS評価書に基づき算出した年間のCO₂排出削減率が、目標値以上削減されている計画について、CO₂削減量に応じて助成金を交付している。

＜助成額＞

助成対象者：中小企業者等…CO₂削減量1tあたり50万円(上限額2,000万円)
その他…CO₂削減量1tあたり25万円(上限額1,000万円)

建築物環境計画書制度・低炭素建築物助成

実績

R7予算額: **70,000,000円**(執行率: **18.9%**) ※令和7年12月末現在
※このうち、13,000,000円を省エネルギー改修等助成に流用(流用後執行率: **23.2%**)

◆建築物環境計画書制度(令和7年度)

届出件数: **48件** CO₂削減量: **7,008t**

(内訳)

非住宅建築物	: 26件	35%以上削減	: 12件
住宅建築物	: 14件	20%以上～35%未満削減	: 14件
複合建築物	: 6件	20%未満削減	: 21件

※**2件**は、受付のみ

※複合建築物は、非住宅及び住宅でカウント
5件は、計算対象外

◆低炭素建築物助成(令和7年度)

助成件数: **2件** 助成額: **1,325万円**
CO₂削減量: **62t**



再生可能エネルギー100%電力切替促進事業

制度概要

◆家庭

契約電力を再エネ100%電力へ切替えた家庭に対して、現金2万円と認証ステッカーを交付する。

◆事業者

再エネ100%電力を利用している事業者に対して、認証書と認証ステッカーを交付するとともに、区ホームページに公表する。



実績(R7)

R7予算額: 600,000円(執行率: 57%)

※令和7年12月末現在

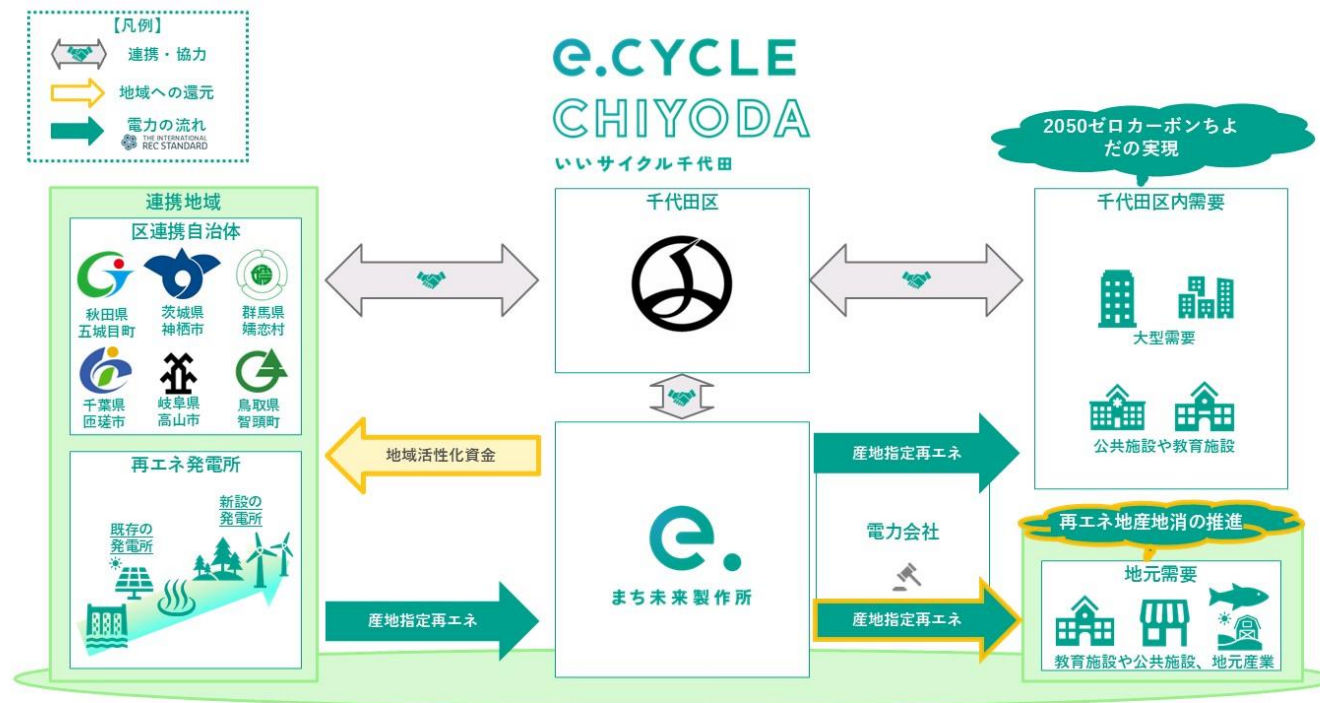
◆家庭: 17件

◆事業者: 0件



地方連携による再生可能エネルギーの供給

区内再エネ普及促進の一環として、脱炭素化へ向けた連携協定を締結する岐阜県高山市、群馬県嬬恋村、秋田県五城目町、茨城県神栖市、鳥取県智頭町、千葉県匝瑳市の6市町村の自治体地域内で発電された再生可能エネルギーを区内事業者へ供給するとともに、自治体地域へ電力地産地消の推進及び電力売益の一部を地域活性化資金として還元する仕組みを構築



自治体名	発電事業者	発電設備種別	年間発電量(想定)	供給棟数(想定)※
神栖市	6事業者	太陽光、風力	408,809,858kWh	約1,596棟
嬬恋村	3事業者	太陽光、水力	73,124,835kWh	約285棟
匝瑳市	1事業者	太陽光	2,633,466kWh	約10棟

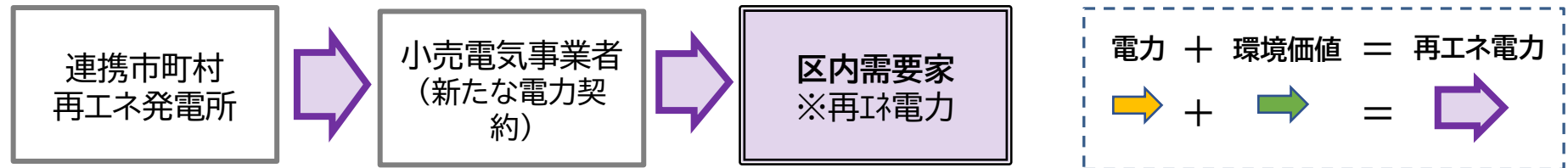
※区内の平均的な事業所ビル(2,000㎡)1棟分の年間電気使用量256MWhで試算

地方連携による再生可能エネルギーの供給

◆再エネ電力供給メニュー及び実績

① 再エネ電力切替方式

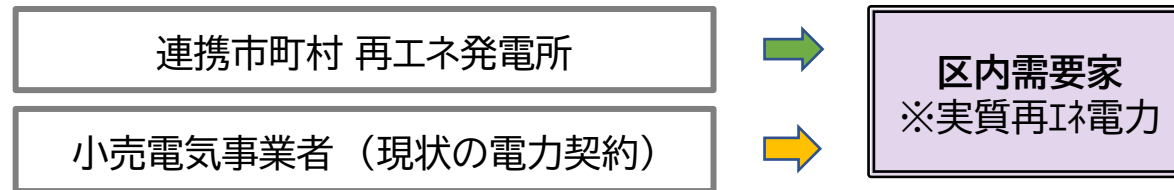
〔電力 + 非化石証書(環境価値)〕



〔特徴〕 ・電力契約を変更する必要がある

② 非化石証書のみ購入方式

〔非化石証書(環境価値)のみ 〕



〔特徴〕 ・現在の電力契約を変更することなく、実質的に再エネ電力の使用が可能

		契約数	供給量	二酸化炭素吸収量
実績 (令和7年度)	再エネ電力供給	3	8,374,666kWh(見込)/年	3,542t-CO ₂ /年
	非化石証書購入	1	2,203,634kWh(見込)/年	932t-CO ₂ /年

※令和7年3月18日 環境省公表の排出係数0.000423t-CO₂/kWhで計算

千代田区温暖化配慮行動計画書制度

～行動する「人づくり」として、ソフト面での温暖化対策を目指す～
(千代田区地球温暖化対策条例第17条2項に基づき実施)

事業所



屋上緑化



PC節電モード

温暖化配慮行動を実施
毎年度、計画書兼報告書を提出

■従業員300人以上
⇒義務提出
(特定事業者)

■従業員300人未満
⇒任意提出

令和7年度

計画書兼報告書の提出件数

義務提出者 339 事業所

任意提出者 45 事業所

過去の提出件数(合計)

令和7	令和6	令和5	令和4	令和3
384	392	352	321	327

提出

表彰

情報の閲覧

情報の公開・提供



千代田区

- ◆計画書兼報告書の集計
- ◆表彰事業者の決定
- ◆優良な取組みの表彰



事例集の作成
HP等での公表



区民等

取組みの実行

取組みの拡大・普及

～令和7年度表彰事業者 主な取組み一覧～



千代田区温暖化配慮賞 義務提出部門 株式会社パソナグループ

✧ 基本情報

- ◆ 所在地：千代田区丸の内1丁目5-1 新丸の内ビルディング14F
- ◆ 業種：サービス業（他に分類されないもの）
- ◆ 受賞歴：なし

✧ 主な取組み内容

◆ 再生可能エネルギー電力への切り替え

グループ施設（淡路島内の店舗・オフィス・寮・社宅）において、再生可能エネルギー100%電力への切り替えを完了した。

◆ 環境勉強会及びEcoテストの実施

全国の支店にて、地域に根差した環境活動を学び、実践することを目的とした環境勉強会を開催しており、全国より3000名の社員が参加した。また、環境問題および自社の取組理解を深めるため、社内にてEcoテストを実施し、グループ社員6700名が受講した。

◆ 環境保全活動への参加

4月の「アースデイ」と9月の「World Clean Up Day」に合わせて、国内外の拠点で清掃活動や植樹活動などの環境保全活動を積極的に推進している。「アースデイ」では、地域団体と連携した植樹・育樹による森林保全活動など、多様な取り組みを実施した。「World Cleanup Day」では、国内外約70拠点で活動し、社員や派遣登録スタッフ、地域住民と協力してオフィス周辺やビーチの清掃活動を実施した。

～令和7年度表彰事業者 主な取組み一覧～



千代田区温暖化配慮賞 任意提出部門 労働金庫連合会

✧ 基本情報

- ◆ 所在地：千代田区内神田1丁目13-4
- ◆ 業種：金融業、保険業
- ◆ 受賞歴：なし

✧ 主な取組み内容

◆ 自然を活用したシステムの導入

- ・ 冷暖房効率を高め、電力消費量を抑えるシステム
- ・ 安価な夜間電力を利用して氷蓄熱し、日中の熱源として利用する氷蓄熱装置
- ・ 日射量の変化に応じてブラインドの角度を自動制御するシステム

◆ 「ろうきん森の学校」の実施

2005年から、「森を育む」「人を育む」「森で遊ぶ」という3つの柱のもと活動する「ろうきん森の学校」の実施。富士山・福島・新潟・岐阜・広島の5地区におけるNP0法人と連携し、プログラムの実施や地域社会との連携強化、フィールド整備等に取り組んでいる。また、新入職員向け研修は富士山地区、内定者向け研修は本会事務所において富士山地区の出張プログラムを実施し、自然との共生の大切さを実感する機会を提供している。

◆ 新会館のサステナブルな取組み

現在建て替え中の新会館が、国土交通省による「令和6年度サステナブル建築物等先導事業（省CO₂先導型）の採択プロジェクト」に採択された。新会館には、「水平ルーバーと東西分散コアによる徹底的な外皮性能向上」「日常使いしやすいウェルネス階段を活用した自然エネルギー利用」「中温冷水を活用した高効率システム」「井水と雨水を活用した都心型ZWB」等を設ける予定。



地域貢献賞 三菱UFJファクター株式会社

✧ 基本情報

◆所在地：千代田区神田淡路町2丁目101番地 ワテラストワー15階

◆業種：金融業、保険業

◆受賞歴：なし

✧ 主な取組み内容

◆花壇再生ボランティアによる地域交流

昨年度から、千代田区立千代田小学校と連携し、花壇再生ボランティア活動を実施している。昨年度は、小学校の生活科の授業の一環として、1・2年生3組の子どもたちと共に花壇に花を植え、地域の子どもたちとの交流を深めるとともに、地域社会の次世代育成等への貢献を図っている。

◆傘の無料シェアリングサービスの実施

ゴミの削減やエコの観点から、社内に放置された所有者不明の傘や引き取り手がいない傘などを回収し、再利用可能な傘をシェア傘として利用できるサービスを開始。無駄な傘の購入を抑えることにも繋がり、SDGs12「つくる責任つかう責任」を意識した活動となっている。

✧ 新たな取組み

◆伐採木を活用した地域貢献の取組み

森林を育てる活動の一環として、岡山県で伐採された檜を活用したスタンプを作成し、千代田区立神田保育園へ寄贈した。



特別賞 MIRARTHホールディングス株式会社

✧ 基本情報

- ◆ 所在地：千代田区丸の内1丁目8-2 鉄鋼ビルディング16F
- ◆ 業種：不動産業、物品賃貸業
- ◆ 受賞歴：なし

✧ 主な取組み内容

◆ 環境認証の取得

- ・CO₂削減施策として、全国の自社保有の事務所等に対してグリーン電力化や非化石証書の活用を推進している。また、グループの開発物件において、CO₂排出量を考慮した設計や低炭素資材の採用、環境性能認証（ZEHマンションやCASBEE認証等）の取得を推進している。
- ・2025年12月に竣工した「L.Biz 松山一番町」（愛媛県松山市）では、断熱材の強化及び複層ガラスやCO₂センサー付き全熱交換機を採用したことが評価され、「ZEB Ready」の認証と、省エネ性能表示制度「BELS」の最高ランクである「6つ星」の評価を取得した。

◆ CO₂排出量の見える化

グループ全体のCO₂排出量を正確かつ効率的に管理するため、2024年度よりCO₂排出量管理システムを導入した。クラウドシステムの導入により、データの蓄積と可視化が進み、具体的な削減行動に繋げることが期待される。

✧ 新たな取組み

◆ SBT認定の取得

温室効果ガス排出量削減に関する中長期目標「2030年度までに45%削減（2022年度比）、2050年度までにネットゼロ」を設定。この目標に対して、国際的な気候変動イニシアチブであるSBTiより、「SBT」の認定を取得した。



特別賞 NECネットエスアイ・サービス株式会社

✧ 基本情報

- ◆ 所在地：千代田区神田錦町3丁目1番地 オームビル
- ◆ 業種：情報通信業
- ◆ 受賞歴：R1特別賞、H29環境配慮賞

✧ 主な取組み内容

◆ 社員への環境教育の実施

- ・ 脱炭素ビジネステストによる全社教育
気候変動やカーボンニュートラル対応の一環として、全社員を対象に「脱炭素ビジネステスト」を実施し、「脱炭素」「カーボンニュートラル」「GX」に関わる基礎知識を体系的に学ぶ機会を提供した。

◆ 環境に配慮した取組みの推進

- ・ 「電子承認システム（シャハタcloud）」の導入
- ・ ICT機器利用による業務車両運行日誌、現場パトロール報告書の電子化による用紙の削減
- ・ ICT機器利用による紙利用削減目標値を設定し、毎月目標管理を実施・促進
- ・ GHG算出に伴う、Scope1.2.3の算定を実施

◆ 地域住民を対象としたイベントの実施

- ・ 生物多様性保全活動の一環として、「NEC生きもの観察隊 in 我孫子」を実施。絶滅危惧種のトンボの保全や外来魚の駆除、人工トンボ池の設置などを行い、自然の素晴らしさや生態系について学ぶ機会を提供した。
- ・ 休耕田の再生による生態系サービス機能の復元や有機農業による環境保全の推進を目的に、「田んぼ作りプロジェクト」を実施。収穫したお米（酒米）でグループオリジナルの日本酒を醸造するなど、地域との連携を図っている。

中小企業者向け脱炭素化を通じた経営改善セミナー

概要

中小企業者の皆様から寄せられる「なぜ脱炭素が必要なのか」「何から始めたらよいか分からない」という声にお応えして開催していた「脱炭素セミナー」を、今年は「脱炭素化を通じた経営改善セミナー」と改称し、後述「ちよエコ未来企業スクール」への導線として3回に増強して開催している。

日程

2025/9/11(木)・12/12(金)・2026/2/4(水) 各14時～16時

テーマ (共通)

- ①環境政策の最新動向 千代田区内企業への期待
講師:千代田区 ゼロカーボン推進技監 川又 孝太郎
- ②Eサイクルちよだについて
講師:(株)まち未来製作所 代表取締役 青山 英明 氏
- ③千代田エコシステム(環境マネジメントシステム)について
講師:ちよだエコシステム推進協議会
- ④グループディスカッション

様子

グループディスカッション
や質疑応答を通して、活発
に意見の飛び交う活気ある
セミナーとなっている。



ちよエコ未来企業スクール(千代田区エコシステム推進協議会実施)

概要

区内の中堅・中小企業を対象に、脱炭素経営に関して一気通貫の伴走型支援を受けられる連続講座「ちよエコ未来企業スクール」を今年度から開講した。本スクールは、環境省の「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」に採択された取り組みであり、千代田エコシステム推進協議会が主体となり、区や支援組織と連携して実施している。

テーマ

回	日程(各15-17時)	内容
第1回	2025/11/5(水)	脱炭素経営の基礎知識の座学 他
第2回	2025/12/3(水)	GHG排出量算定演習 他
第3回	2026/1/15(木)	GHG削減目標設定演習 他
第4回	2026/2/16(月)	事例共有 他

様子

▼GHG排出量の算定演習の様子



今年度のスクール参加企業の中で、3社がEサイクルちよだによる電力供給に切り替え完了！

<参考> 地球温暖化対策関連予算

(単位:千円)

事務事業名	令和7年度 予算額 (a)	令和6年度 予算額 (b)	増(△)減額 (a-b)
環境保全事務に要する経費（環境保全費）			
環境保全意識周知 …海洋体験・学習イベント、ちよだ環境フェア、高山森林ツアー、 「ちよだ・つま恋の森づくり」植樹ツアー 等	11,442	12,107	△665
千代田エコシステムの推進	15,415	15,415	0
ヒートアイランド対策・暑熱対策の推進 …ヒートアイランド対策助成、ドライ型ミスト設置及び運営業務、 打ち水事業、緑のカーテン事業 等	24,683	30,091	△5,408
地球温暖化対策			
(1)地球温暖化対策の推進 …再生可能エネルギーの普及促進業務、温暖化配慮行動計画書制度、 森林整備事業、中小企業者向け脱炭素セミナー 等	54,014	46,350	7,664
(2)建築物の省エネ推進 …省エネ改修等助成、低炭素建築物助成 等	227,287	214,834	12,453
生物多様性の推進 …観察会、生きものさがし、生物多様性大賞 等	9,877	10,597	△720
環境保全一般事務費	6,724	6,813	△89
合計	349,442	336,207	13,235